



サービスご説明資料

2023年9月26日
株式会社SHIFT ヒンシツ大学

その常識、変えてみせる。 **SHIFT**

【目次】

■ ヒンシツ大学について

特徴

- ・人材 能力開発／育成状況管理
- ・専門性の高い学習教材
- ・研修プランのカスタマイズ

■ サービス内容

- ・ヒンシツ大学のミッション
- ・DX人材育成に役立つ実践スキル強化講座のご紹介
- ・教育パッケージのご紹介

■ サービス実績

ヒンシツ大学について

ヒンシツ大学とは

株式会社SHIFTが培ったナレッジを 言語化し体系化した**教育専門機関**です。

- ・ソフトウェア品質保証ナレッジ
- ・スキル、知識、素養 能力可視化
- ・役割別教育制度、やる気を出させる教育支援

日本最大級
ソフトウェア
品質保証講座数



年間
4,000案件以上
※2023年7月時点
&
約2,700社
※2023年9月時点
品質保証
ノウハウ

累計
検定・診断
5,245人
研修受講者
25,519人
※2023.8.16集計

100名／月入社
未経験者多数
社員育成

人材 能力開発 育成状況管理

業務システム・ゲーム・アプリなど、**ソフトウェア開発に伴う
開発業務の課題解決**を**人材の能力開発**によるアプローチからご支援。

スキル診断を併用することで、継続的な自社の**人材育成状況管理
(タレントマネジメント)**の効率化に貢献。

Why

- お客様の優先する戦略的な育成計画を**企画段階から支援**
- 業務ごとに必要なスキルを**ビジネス変化に応じた早期習得**
- **スキル診断にて個人別の傾向**を管理者目線で明確化

持続的育成計画支援

業務必要スキルを**スピード習得**
個人別の**人材育成状況管理**に対応

How

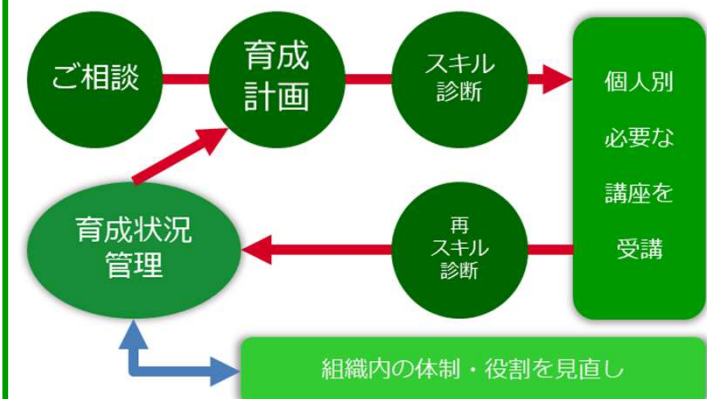
全社ミッションを**戦略的**ピンポイント強化

業務毎／個別に**補完的**早期習得

実践力強化の**複合的**な仕組みを構築

- ✓ 無駄なくピンポイントにスキル強化
- ✓ 組織**ミッションの変化**へ柔軟に対応
- ✓ 座学／演習／OJT支援など複合的な仕組みを用いて**一貫した育成状況管理**を実現

持続的な能力開発サイクル



第三者ソフトウェア品質保証専門会社の
ナレッジが詰まった**専門性の高い学習教材**にて

各開発工程での**プロジェクト運営**と**体系的な品質保証設計**の
観点や方法論を習得でき**全社的なスキルの底上げ**に貢献。

専門性の高い
学習教材

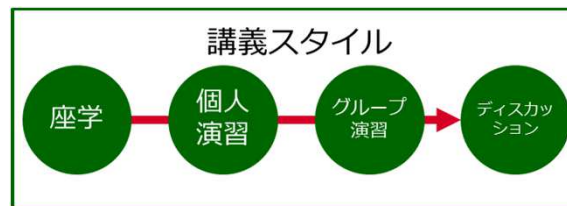
Why

- 工程ごとの観点や方法論が習得可能な日本最大級のテスト講座数
- 1,000社／年の現場による体系的な品質保証のノウハウを反映
- 座学だけではない**経験を重視**した体験型講座で効率的な学習

日本最大級の**講座数**
現場のノウハウを教材に反映
体験型講座による**効率的な学習**

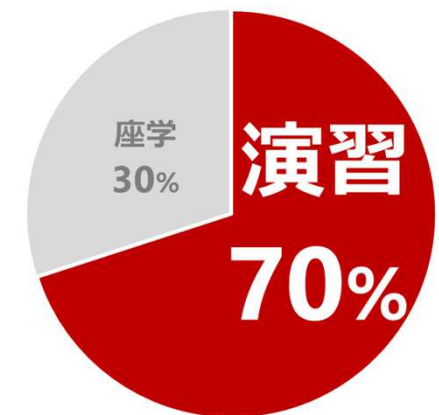
How

実践的・体験型講座



※一部講義により違う場合があります。

- ✓ すべての方が対象（新人、エンジニア、PL／PM、管理層）
- ✓ 日本を代表する信頼されるラーニング会社に導入
- ✓ PMI公認トレーニングパートナー



研修プランの カスタマイズ

企業研修として自社課題への対応を優先した
研修プランのカスタマイズに対応。

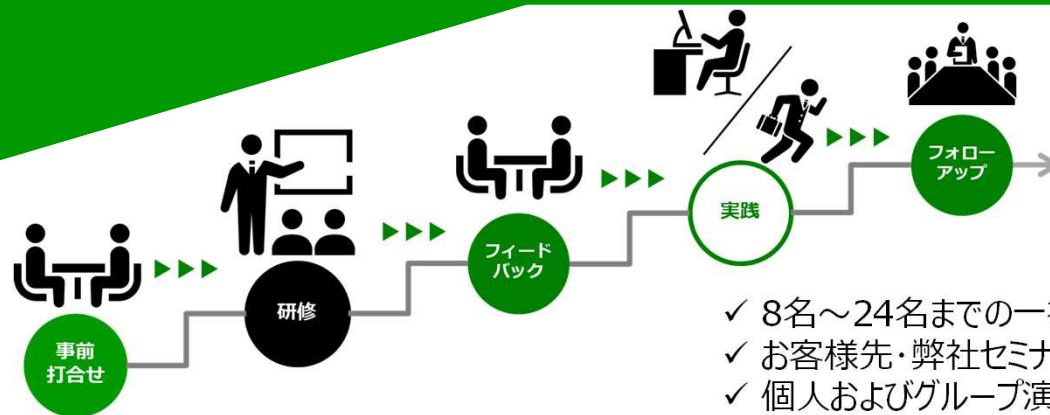
一般的な公開講座とは違い、**必要な知識を集中的に学習**することで、**早期に実践で活用可能な知識の習熟**が期待できます。

Why

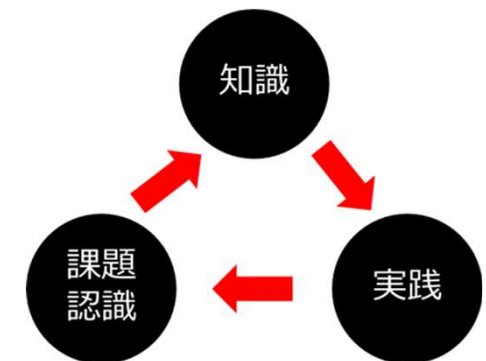
- ご要望に応じて**個別カスタマイズ**や**出張企業研修**にも対応
- 実用性が高く**実務をベースとした講座**で必要知識を集中学習
- **大手ラーニング会社**や**専門学校**も導入する実践的な演習

個別の**企業研修**
必要としている知識を**集中学習**
実践力が身につく**演習が中心**

How



- ✓ 8名～24名までの一社様向け企業研修
- ✓ お客様先・弊社セミナールームどちらでも可能
- ✓ 個人およびグループ演習中心の実践講座



サービス内容

教育システム・人財開発機能

お客様に寄り添うサービス

組織に必要な能力を
引き出すための複合型サービス

単なる研修サービスではない
教育でお客様と成功を目指す
ソリューションサービスです

公開講座

専用HP1名様からお申し込みいただけます（37講座）

企業研修

ご要望に応じたカスタマイズ研修
をご提供いたします

検定

素養確認などオンラインから受験
いただけます

以下資料ご紹介範囲



DX推進 再教育



目的にあわせて多彩なメニューから
教育プログラムを選択可能



組織の目的を達成するための

教育サービス

組織戦略支援

事業変革支援

組織の目標をスピーディーに
ゴールへと導くための

人財開発機能

その常識、変えてみせる。

SHIFT

効果のさらなる最大化に向け
SHIFTの各支援サービスとも連携

DX人材育成に役立つ
実践スキル強化講座のご紹介
(全26講座)

ヒンシツ大学では、実践スキル強化に役立つ講座をラインアップに加えています

目的は

“部門業務の効率化（再教育時の負荷削減など）”と
“期待する業務に必要なスキルの強化”です

POINT1 実践的な教材

実践スキル強化に
役立つ講座
をラインアップ

POINT2 効果的な教育

再教育による
現場部門負荷軽減

POINT3 戦略的な育成

従業員再教育の
課題解決

POINT1 実践的な教材

実践スキル強化に役立つ講座 をラインアップ

目指す人材像を明確化し、最短距離でのスキル強化に役立つ実践的な内容の講座を数多く用意しています

受講者の声

●情報セキュリティ
座学と演習があり、コミュニケーションをとりながら、情報セキュリティの知識を深めることができましたと思います

●PowerPoint
スライドマスターの使い方に不安があったので、解消できてよかった。

●DXパターン
いまのご時世、DXについては社会人全員が知るべきだと改めて思いました。

26
講座

- 社会人基礎
- 情報セキュリティ
- ビジネスマナー
- 議事録の作法
- Excel初級
- PowerPoint
- コミュニケーションツールの作法
- SDGs
- プレゼンテーション
- コンピューター基礎
- デザイン思考
- 業務改善プロジェクト概論
- DXパターン
- ロジカルシンキング
- 品質管理
- チームワーク力強化
- セルフマネジメント
- プロジェクトマネジメント
- テスト計画／管理
- ファシリテーション
- 施策推進
- 生産性
- ITパスポート演習
- 作るUX 測るUX
- WBSと工数見積り
- 業務システム開発概論

●Excel初級
実際の業務で明日から使える効率化スキルが身につきました。

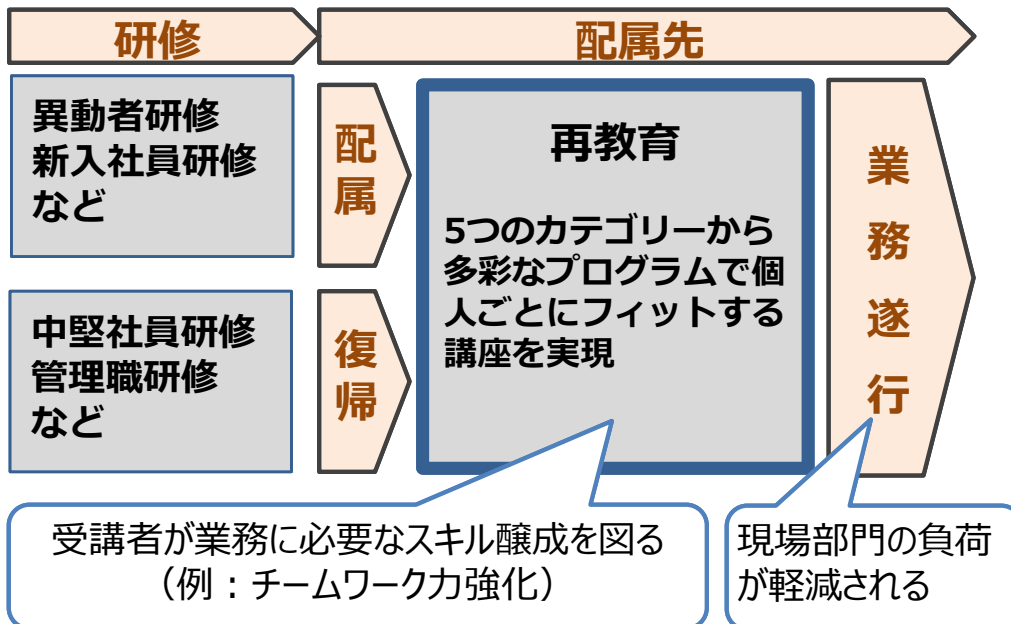
●コミュニケーションツールの作法
非常にためになりました。社会人なり立てのときにほしい講義だと思いました。

●ロジカルシンキング
上司や同僚から「何いってるのかよくわからないなあ」と言われている人が自分自身の考え方・話し方に注意を向けるきっかけになる内容だと思います。

POINT2 効果的な教育

再教育による 現場部門負荷軽減

現場部門従業員の再教育の負荷を削減し、幅広い従業員に必要なスキルを身につけたうえで業務遂行できます



POINT3 戦略的な育成

社員再教育の課題解決

現場で求められる多様なスキル強化の課題解決に向けた教育サービスを提案します

事業会社人材育成の課題（例）



全26講座

※ 表記のない講座は3時間です。

ステップアップ	<div>09 SDGsの歩き方</div> <div>19 テスト計画／管理</div> <div>23 ITパスポート演習（2日間）</div> <div>24 作るUX測るUX（1日間）</div> <div>29 WBSと工数見積り</div> <div>30 業務システム開発概論</div>	幅広い知識の蓄積と多様な観点を身につけ、俯瞰的に考えられるスキルを身につけるためのステップアップ講座カテゴリーです
業務効率化	<div>06 業務改善プロジェクト概論</div> <div>07 コミュニケーションツールの作法</div> <div>14 チームワーク力強化</div> <div>22 生産性</div>	コミュニケーション力、業務検証から見直し方法、生産性向上へ動かすための実践を学ぶ講座カテゴリーです
意識改革 事業推進	<div>10 プレゼンテーション</div> <div>11 DXパターン</div> <div>12 ロジカルシンキング</div> <div>13 品質管理</div> <div>15 プロジェクトマネジメント</div> <div>17 デザイン思考</div> <div>20 ファシリテーション</div> <div>21 施策推進</div>	考え方・伝え方・進め方・動かし方といったビジネス推進方法や意識を変えることに欠かせない知識醸成を図る講座カテゴリーです
IT 資料作成 基礎	<div>02 情報セキュリティ</div> <div>04 Excel初級</div> <div>05 PowerPoint</div> <div>18 コンピュータ基礎</div>	日常業務に欠かせないコンピュータ全般知識および使用頻度が高いソフトウェア操作などITリテラシー向上に役立つ講座カテゴリーです
社会人基礎	<div>01 社会人基礎</div> <div>03 ビジネスマナー</div> <div>08 議事録の作法</div> <div>16 セルフマネジメント</div>	社会人スタートの心構え・マナー・意識など基礎知識全般を学んでいただける講座カテゴリーです

分類	講座名	サブタイトル	時間	講座概要
基本 ノウハウ	社会人基礎	【明日からの行動が変わる】	3H	会社とは、社会人とは、働く目的とは、を考え、それぞれのあるべき社会人像を描き、社会人像に近づけるため、求められる姿勢やとるべき行動を考える。また、求められるマインドセットと、成果をあげるために求められる姿勢を理解し、これからの研修・業務における行動を変える。
	ビジネスマナー	【ビジネスシーンでの振る舞いに自信がつく】	3H	ビジネスマナーの基本として、ビジネスシーンにおける振る舞いや身だしなみを学び、演習によりビジネスマナーを体感する。名刺の渡し方や上座／下座などについて学び、お客様先で働くうえで大事なビジネスマナーを身につけることによって、ビジネスマナーについて自信をつけることができる。
	議事録の作法	【正確な情報を伝えられる】	3H	会議における重要な役割の一つである議事録作成の目的・重要性と、議事録作成における手順とポイントを理解し、ビジネスライティングの基礎を知ることにより、よい議事録とは何かがわかり、議事録作成を通じて関係者に正確な情報を共有できるようになる。
	セルフマネジメント	【折れない心を保てる】	3H	表面的な感情コントロールの方法論ではなく、人の思考や感情がどのように生み出され、人間関係や業務のパフォーマンスにどのように影響があるかを根本原因から理解する。自分の感情状態を瞬時に判断しマネジメントできるようになり、折れない心から良好な人間関係を保ち、パフォーマンスの高い状態から業務に取り掛かることができる力を身につける。
実践 ノウハウ	情報セキュリティ	【リスク行動を避ける】	3H	インシデントによるリスクの理解を通じて、情報セキュリティの大切さと、情報セキュリティに関して注意すべきことを学び、演習により情報セキュリティの大切さを体感することにより、情報セキュリティを意識してリスクを減らす、もしくはリスクとなるような行動を避けるといった適切なリスク対策を行えるようになる。
	Excel 初級	【効率的に業務を進められる】	3H	Excelの基礎を実践的に学ぶことで、実際の業務で困らず効率化できるExcelのスキルが身につく講座。Excelの基本操作やショートカット、関数の基本、条件式、集計関数、条件付き書式を学び、演習を通じて関数の活用方法とExcelの操作を効率的にする方法を体感することにより、Excelを実践的に活用できるようになる。
	PowerPoint	【プレゼン資料が簡単につくれる】	3H	PowerPointの基本操作を身につけ、業務で支障なくプレゼン資料などをPowerPointを使って作成するための講座。PowerPointの基本操作やPowerPoint資料の作成方法を学び、演習を通じてPowerPointのプレゼン資料の作成を体感することにより、わかりやすいプレゼン資料をつくることができるようになる。
	コンピューター基礎	【コンピューターの中身をまるっと知る】	3H	コンピューターのハードウェア、ソフトウェア、通信、セキュリティなどの基礎知識と活用事例を習得し、演習により、各知識の理解と定着を図る。超初心者にもわかりやすく、コンピューターの主要成分（ハードウェア、プログラミング、ソフトウェア、通信技術）とセキュリティの基礎を解説。

分類	講座名	サブタイトル	時間	講座概要
意識改革・事業推進 実践ノウハウ	プレゼンテーション	【わかりやすいといわれる】	3H	基本的なプレゼンテーションスキルを身につけ、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための講座。わかりやすいプレゼンテーション資料の作成方法やプレゼンテーションをするうえでの注意点を学び、演習によりわかりやすいプレゼンテーションとはどんなものかを体感することにより、プレゼンテーションする際のコツを身につけることができる。
	DXパターン	【DXの基礎知識と実践例】	3H	イノベーションの方法やDX関連の技術知識を得て、演習によりイノベーションの実践感覚を養う。DXの全体像、イノベーションの考え方、注目のデジタル技術まで、DXに踏み出すためのエッセンスを解説。
	ロジカルシンキング	【相手にわかりやすい説明ができる】	3H	ロジカルシンキングを活用し、自ら得た知識や経験を使って他者へ納得感のある提案テクニックについて理解する講座。ロジカルシンキングの基本的な使い方と提案効果の最大化に向けたポイントを理解することにより、ロジカルシンキングの効果的活用のための必要情報を選択し、自分の知識や経験を説明構造として整理し、相手の期待を理解したわかりやすい説明に向けた工夫ができるようになる。
	品質管理	【必要性を認識できる】	3H	品質管理の位置づけを理解し、重要性を確認する。品質管理の基本を習得し、演習により、品質管理の必要性、評価の手順を体感する。情報システムの品質管理、品質管理の運用、品質管理の評価と改善、品質管理の道具を理解することにより、品質管理の必要性を説明することができるようになる。
	プロジェクトマネジメント	【業務推進の勘所がわかる】	3H	プロジェクトマネジメントの重要性を理解し、プロジェクトを進めていくうえで知っておくべきポイントを学ぶ。プロジェクトに参画するうえで知っておくべき観点を理解し、演習を通じてプロジェクト推進の困難さと、進め方において注意すべき点を体感することにより、自身の仕事の進め方について俯瞰するための考え方を身につける。
	デザイン思考	【今日からはじめるイノベーション】	3H	国内外のデザイン政策とその背景や、デザイン思考の方法／手順／マインドを学ぶ。代表的フレームワークや、日本での実践事例などを概観し、演習を通じてデザイン思考の実践方法を体感する。デザイン思考の目指すもの、具体的なプロセスや手法について、わかりやすく解説。
	ファシリテーション	【どんな会話にも順応できる】	3H	ビジネスシーンで定着し、多くの人がファシリテーターの役割を理解しているが、多くの方が効果的・効率的にその役割を遂行できないため、本質的な問題を生み出す「人の思考」に基づく原因理解と、解決手段にあることを理解し、人の思考にアプローチすることで、どのような会話にも順応し、ファシリテーション能力を発揮する方法を体感する。
	施策推進	【業務遂行のコツがわかる】	3H	組織にはどのような人がいて誰を動かせば効果的かなど施策を推進する際に重要なポイントや、組織を取り巻く環境を踏まえたうえで、施策推進に有効な12のヒューマンスキル、および施策推進に重要な3つのマインドを理解する。また、組織間で生じる板挟み状況を調整するポイントと交渉の考え方を理解し、演習を通じて組織間調整を体感する。

分類	講座名	サブタイトル	時間	講座概要
実践 ノウハウ 業務 効率化	業務改善プロジェクト概論	【改善手法がわかる】	3H	既存業務の分析、改善点の洗い出しの手法を知り、改善方法を演習を通して学ぶ。分析および改善点をグループでまとめ、発表を行うことで、ファシリテーションやプレゼンテーションを学ぶ。
	コミュニケーションツールの作法 (Teams、Outlook、Mail)	【活用時のポイントがわかる】	3H	ビジネスの現場におけるコミュニケーションツールの概要を知り、円滑なコミュニケーションができるようになる。主にメール、チャットというテキストベースのコミュニケーションツールの作法を知り、社内外における適切なコミュニケーションのポイントを押さえる。
	チームワーク力強化「サーバントシップ強化」	【お互いに認め合える】	3H	職場での人間関係やチームビルディングで悩む人がいなくなる理由が、その方法論を使いこなすための土台となる人との繋がりを生み出すサーバントシップを発揮する力を身につけられていないことを学ぶ。サーバントシップを理解し、お互いがお互いを認め合いチームワークを向上させられる状態へ導く方法を体感する。
	生産性	【生産性を向上させる】	3H	生産性とは何かを考え、生産性を上げるために必要な心構えを理解し、日々の業務における効率化、改善を考えるきっかけとする。生産性向上のため、業務の可視化、標準化の重要性を理解し、演習を通じて生産性向上達法の活用方法を体感する。

分類	講座名	サブタイトル	時間	講座概要
ビジネス知識	SDGsの歩き方	【仕組み・目的・効果がわかる】	3H	SDGsの成り立ちや仕組み・内容について、世の中にあふれたSDGsの情報のなかから、正しい情報を選び、理解するための基本知識を身につける。国連や国際機関、国連加盟国の公式資料をPDCAサイクルで辿りながら、SDGs本来の仕組み、目的と効果について解説。SDGs検定のヒントも！
テクニカルスキル	テスト計画／管理	【品質管理の方法がわかる】	3H	ソフトウェア・テストのテスト計画・管理の基本を学ぶ。テスト計画書に記載すべき内容や、テスト計画／管理の肝となる「テストアプローチ」「テスト工数見積もり」のノウハウや考慮すべきポイントを押さえる。また、テストを成功に導くためのノウハウを演習やケーススタディを通して学ぶ。（本講座は「品質管理」講座の上位レベルに位置づけられます）
ステップアップ	ITパスポート演習 「はじめの一步 開発基礎」	【第一歩が踏み出せる】	12H 2日	システム開発にはじめて携わるIT未経験者を対象とし、円滑にシステム開発業務を開始するため、最低限必要となるITの基礎知識を習得するための2日間講座。演習により、Day1：開発の流れ、品質とは、テスト環境、コンピューターの基本、Day2：DBの基本、設計の基本、テストの基本、システム構成と故障対策、セキュリティ、を習得する。
	作るUX・測るUX	【製品・サービス作りのポイントがわかる】	6H 1日	製品・サービスに対する利用者の喜び・体験価値を意味するUXについて、実践を交えながら基礎的知識を学ぶ。「作るUX」では「ペルソナ・シナリオ手法」、「測るUX」では、UX品質を定量評価する手法として「UXエキスパートレビュー」「SUS」を学び、UX企画の基本であるペルソナ・シナリオ作成（作るUX）と、UX品質評価を理解し簡単なUX評価（測るUX）ができるようになる。
	WBSと工数見積り	【作業の洗出しの漏れを防げる】	3H	プロジェクトを計画し実行していくうえで基本となるWBS（Work Breakdown Structure）について学ぶ。WBSにより分解した作業の工数を見積ることで、スケジュール、要員計画、コスト計画の作成、リスクの洗出しに繋げる。
	業務システム開発概論	【業務システム開発のポイントがわかる】	6H 1日	これから業務システムの開発業務を担当するうえで、業務において特に大切な観点や考え方をまとめた1日（6時間）の講座。業務システム開発の目的から、業務における全体的なプロセスを理解し、業務における基本的なコミュニケーションのベースとなる基本的なポイントについても学ぶ。

※各講座の概要資料も別途ご用意しています。

キャリアアップのためのスキル強化に役立つ講座をラインアップ

受講者の声

●情報セキュリティ

座学と演習があり、コミュニケーションをとりながら、情報セキュリティの知識を深めることができましたと思います

●PowerPoint

スライドマスターの使い方に不安があったので、解消できてよかった。

●DXパターン

いまのご時世、DXについては社会人全員が知るべきだと改めて思いました。

26 講座

- | | | | | |
|--------------|-------------------|----------------|-------------|--------------|
| ● 社会人基礎 | ● コミュニケーションツールの作法 | ● DXパターン | ● テスト計画／管理 | ● WBSと工数見積り |
| ● 情報セキュリティ | ● SDGs | ● ロジカルシンキング | ● ファシリテーション | ● 業務システム開発概論 |
| ● ビジネスマナー | ● プレゼンテーション | ● 品質管理 | ● 施策推進 | |
| ● 議事録の作法 | ● コンピューター基礎 | ● チームワーク力強化 | ● 生産性 | |
| ● Excel初級 | ● デザイン思考 | ● セルフマネジメント | ● ITパスポート演習 | |
| ● PowerPoint | ● 業務改善プロジェクト概論 | ● プロジェクトマネジメント | ● 作るUX 測るUX | |

●Excel初級

実際の業務で明日から使える効率化スキルが身につきました。

●コミュニケーションツールの作法

非常にためになりました。社会人なり立てのときにほしい講義だと思いました。

●ロジカルシンキング

上司や同僚から「何いってるのかよくわからないなあ」と言われている人が自分自身の考え方・話し方に注意を向けるきっかけになる内容だと思います。

教育パッケージのご紹介

【教育パッケージ】受講ターゲット

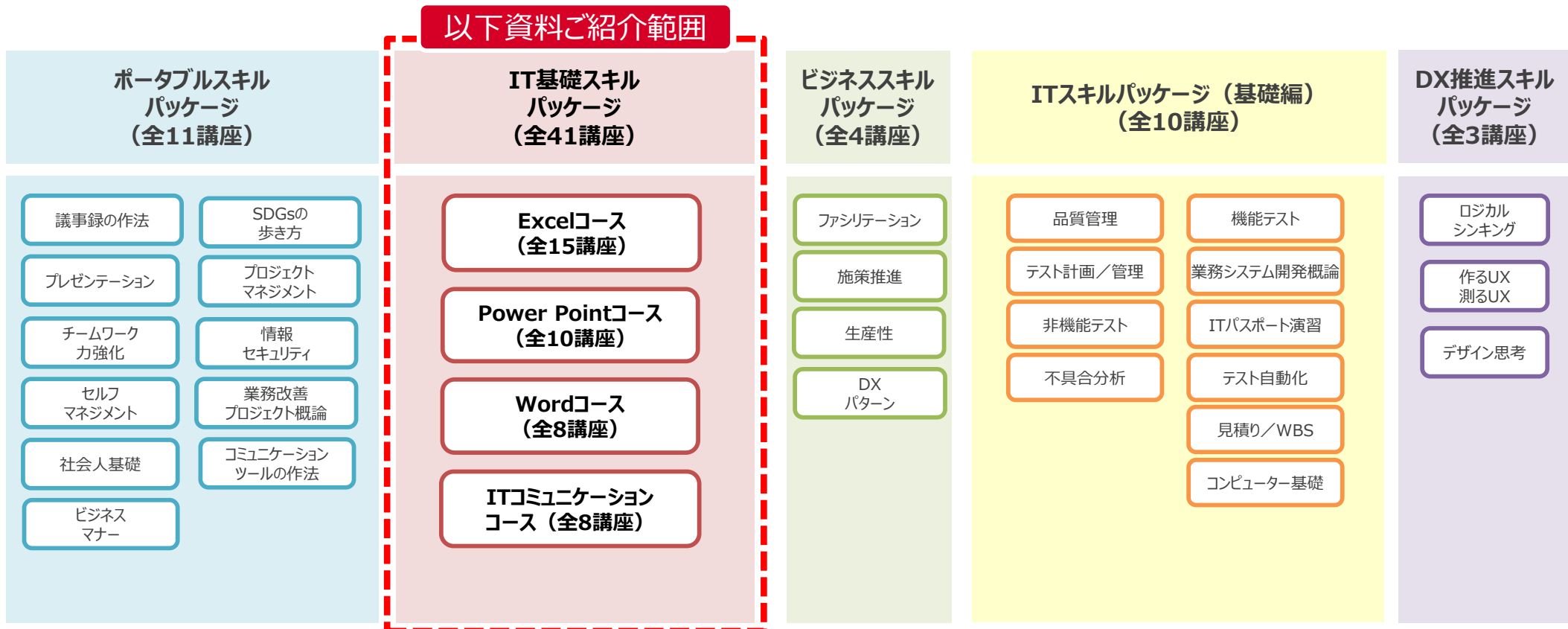
社会人基礎（ポータブルスキル）習得からDX人材育成まで、**全従業員が学べる**教育パッケージをご用意

対象者		ヒンシツ大学教育パッケージの構成対象				
		ポータブルスキル パッケージ	IT基礎スキル パッケージ	ビジネススキル パッケージ (基礎／応用)	ITスキル パッケージ (基礎／応用)	DX推進スキル パッケージ
公共・ 一般企業様	新人向け	○	○	基礎	×	○
	若手向け	○	○	基礎	×	○
	中堅向け	○	○	応用	×	○
	ベテラン向け	○	○	応用	×	○
ITサー ビス関 連会 社様	新人向け	○	○	×	基礎	○
	若手向け	×	○	×	基礎	○
	中堅向け	×	×	×	応用	○
	ベテラン向け	×	×	×	応用	○

【教育パッケージ】構成概要

全69講座のなかから「**教育目的に応じた講座**」をご選択いただけます。

Hinsitsu University 教育パッケージの構成対象（全69講座）



【IT基礎スキルパッケージ】構成概要（全41講座）

Microsoft 365を用いて、個人作業からチーム作業まで、さまざまな業務を効率化できるスキルが習得できます。

③ 応用

② 実践

① 基礎

Excelコース (全15講座)

- ショートカットキー
- データのインポート
- ピボットテーブル
- マクロ自動化
- フィルタリング
- データの書式設定
- 表示とレイアウトの調整
- グラフ
- 重複データ
- データ入力バリデーション
- 表テーブル作成
- 関数 (XLOOKUP, IFなど)
- セル入力、基本操作
- 書式設定
- 印刷設定 検索／置換

PowerPointコース (全10講座)

- アクセシビリティ
- デザインとレイアウト
- アニメーション
- グラフ、図表
- スマートアート
- オブジェクトの配置・整列
- ノート
- 印刷設定 検索／置換
- スライド作成
- プレゼンテーション操作

Wordコース (全8講座)

- 校閲機能
- ディクテーション
- 目次作成
- 段落
- 図表の挿入
- スタイル、見出し
- 文書入力
- 印刷設定 検索／置換

ITコミュニケーションコース (全8講座)

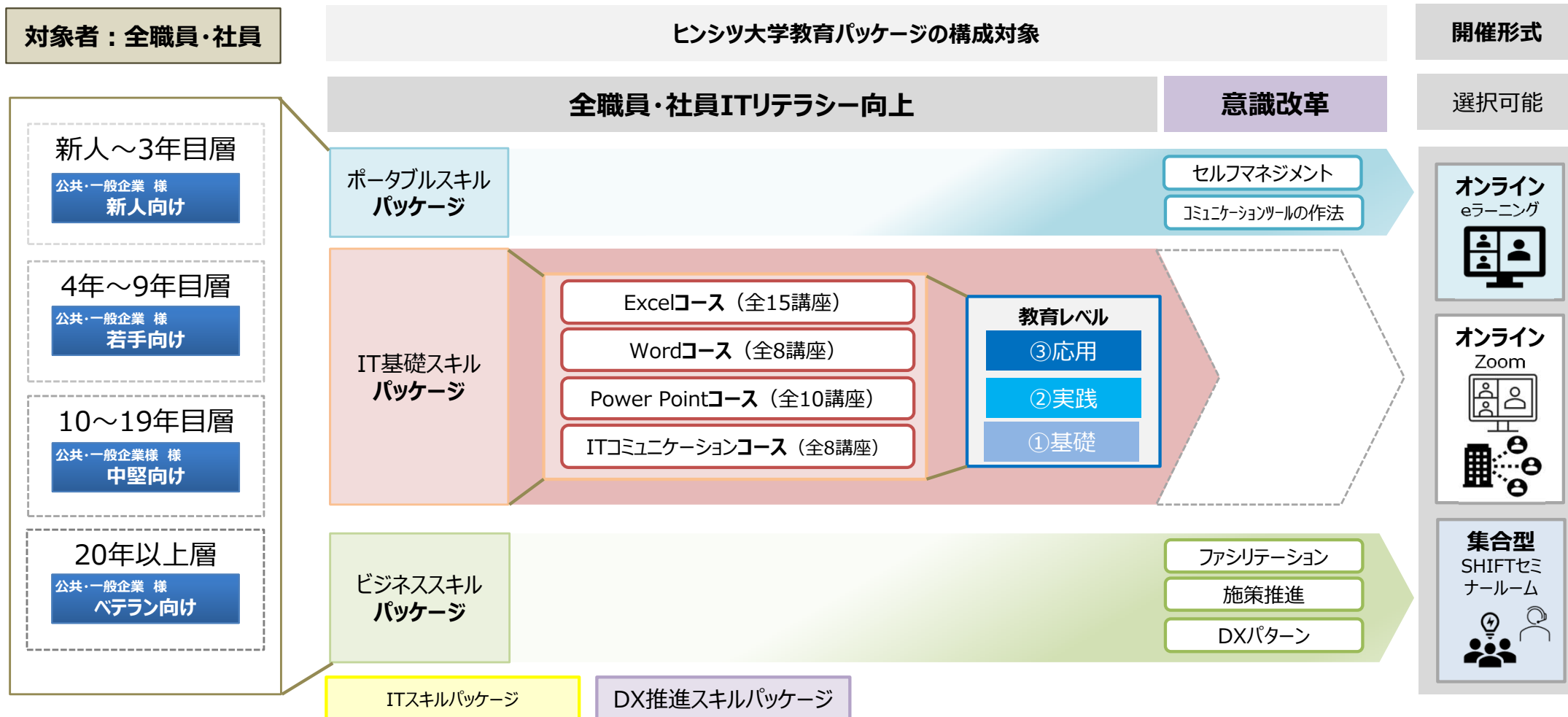
- [T]チームの管理
- [S]サイトの作成
- [S]ファイル共有、共同編集
- [T]チャンネルへ投稿
- [T]通話時の画面共有
- [T]個別チャットの投稿
- [T]通話、ミーティング参加
- [S]基本操作
- [T]: Teams
[S]: SharePoint

【 IT基礎スキルパッケージ 】 各コースのレベル概要（基礎、実践、応用）

基礎→実践→応用と段階的にIT基礎スキルを学び、チーム活動の効率化に貢献する人材を育成できます。

レベル	対象者	到達目標	業務活用のシーン
③応用	<ul style="list-style-type: none"> ・レベル②の内容を理解している ・チーム作業の経験がある 	チーム作業 の効率を向上させ、 コラボレーションを強化できる	<ul style="list-style-type: none"> ・Excel／PowerPoint／Wordを使った“人に見せる”資料作成やプレゼンテーション ・共同編集、レビュー ・SharePointによる資料共有
②実践	<ul style="list-style-type: none"> ・レベル①の内容を理解している ・MS製品の基本的な使用に慣れている 	個人作業 において時間を節約し、 質と量を向上 できる	<ul style="list-style-type: none"> ・Excel／PowerPoint／Wordを使った実践的な資料作成（データ加工、可視化など） ・Teamsでの主体的なコミュニケーション
①基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なコンピューター操作ができる ・マウスとキーボードの使用に慣れている 	基本的な個人作業 をこなせる	<ul style="list-style-type: none"> ・Excel／PowerPoint／Wordを使った基本的な資料作成 ・Teamsでの基本的なコミュニケーション

教育ご支援事例 「全職員・社員ITリテラシー向上」「意識改革」



サービス実績

【国・学校・自治体連携】

将来を担う学生に品質保証の大切さを伝える活動

専門学校 授業	千葉県トップクラスのIT専門学校 船橋情報ビジネス専門学校	(2018年9月～)	必須授業
	日本最大級のIT専門学校 日本工学院	(2018年11月)	特別授業
	日本有数のIT専門学校 日本電子専門学校	(2019年4月～)	必須授業
	高知県トップクラスのIT専門学校 龍馬情報ビジネス&フード専門学校	(2020年5月～)	必須授業
小中学生向け 特別授業	SHIFT従業員の子どもたちによる職場体験 シフトモkidsサマースクール	(2021年8月)	特別講座
高校生向け 特別授業	都内屈指の名門校 広尾学園	(2019年3月)	特別講座
	高知の名門 SGH (スーパーグローバルハイスクール) 高知西高校	(2020年1月)	特別講座
大学生向け 特別授業	私立理工系大学唯一のスーパーグローバル化 芝浦工業大学	(2019年8月)	特別講座

【国・学校・自治体連携】

将来を担う学生に品質保証の大切さを伝える活動

自治体向け 特別授業

高知県経済活性化を担うデジタル人材育成
土佐MBA

(2021年7月) 特別講座

高知県経済活性化を担うデジタル人材育成
ソフトウェア品質管理講座

(2022年8月) 特別講座

全国 女性活躍支援xSAP人材不足を共に解消
SAP女子プロジェクト

(2021年10月) 特別講座

北海道情報システム産業協会 品質基本実践応用
生産性向上支援訓練 品質実践

(2022年11月) 特別講座

国・省庁向け 特別授業

文科省 委託事業 4年目

「専修学校における先端技術利活用実証研究」

(2021年度) 実施委員／推進委員

DX推進へ向けた活動

自治体向け ウェビナー

新潟県職員向け

DXエンカレッジセミナー
～デジタルは手段、目的はイノベーション～

(2023年7月) ※8月オンデマンド配信

■ケース1

お困りごと	リリース後の不具合多数 →上流工程での品質意識改善を実施し、プロダクト品質を向上
解決目的	インスペクション講座を実施、仕様書間整合性をみて、前工程でバグを検知する
教育対象	中堅社員 20名
講座内容	インスペクション講座
効果	上流工程のレビュー指摘 従来比 25%上昇、一方リリース後不具合が50%削減した。 リリース後不具合対応が半減した分、全体対応コスト削減に寄与した。

■ケース2

お困りごと	要員スキルアンマッチ解消
解決目的	CAT検定により、品質力測定を実施し、QAチーム配属とプロジェクトリーダ抜擢
教育対象	中堅、若手社員 300名
講座内容	CAT検定（テスト実行検定、PM検定）
効果	テスト・品質の特性を見極めができ、品質チームへ適材適所の配属が可能となった。 テスト実行検定結果 4.0以上のメンバー15%を優先的にQAチームへの配属を行った。 PM検定者結果の偏差値60以上の上位者5%からプロジェクトリーダへの抜擢を行った。

■ケース1

お困りごと	品質に関する知識が低い（体系立てて教育を受けていない） → SHIFT参画による品質改善活動で認識された不足スキルを向上させたい。 また、知識だけでなく演習を通じて実感させたい
解決目的	品質に対する理解品質を高める方法の習得 ソフトウェアテストに関する知識の習得
教育対象	中堅、若手社員（毎年） 8年連続 東京拠点、地方拠点
講座内容	テスト計画とテスト設計（機能テスト） 自社フォーマットの計画と設計演習 ソフトウェアテスト入門
効果	・毎年教育を行うことで共通言語が生まれ、全員の品質意識も向上し 上流工程で品質を考えることができ、上流段階での不具合発見率が20%上昇
教育担当者様のお声	毎回熱量が高くわかりやすい講義をしていただき、受講者の満足度が高く感謝しております。 弊社社員の品質に対する考えが、向上していると感じています。

■ケース2

お困りごと	社員の品質スキルが可視化できない
解決目的	社員ごとに効果的な教育を実施したい
教育対象	中堅、若手社員 200名
講座内容	品質基礎スキルテスト
効果	現時点の社員のスキルを可視化できた
教育担当者様のお声	マネージャ層が現場のやり方に固執していることが発見できた。 翌期に向けた教育計画を立てることまでに至った。

■ケース1

お困りごと	大規模プロジェクトにおいて、体系的な品質教育ができていない
解決目的	<p>そもそも現状のメンバーは、どういった品質スキルレベルなのかを知りたい</p> <p>品質を高める方法の習得</p> <p>ソフトウェアテストに関する知識の習得</p>
教育対象	各本部のメンバー全体
講座内容	<p>品質基礎力検定（1回目30名、2回目300名、3回目1,300名、研修後再テスト）</p> <p>チケット購入（2,500枚）による公開講座全般への受講</p>
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・検定によって個々の弱点とそれを補うための講座が明確になった ・部署ごと、レイヤーごと、といった品質スキルの偏りや弱点が明確になった ・個別に弱点部分に関して対応する講座を受講することで、品質面での適切な教育の実践が出きた
教育担当者様のお声	<p>・検定の結果をFBいただきましたが、当社が認識している組織的な課題と同様の結果となってます。階層別と職種別の結果差異が社内の人事データと合致しているのでテストとしての信頼性を感じました。</p> <p>個人データとしても品質に精通しているメンバーは高く結果が出ており、メンバーとしてのモチベーションアップにも繋がります。</p>

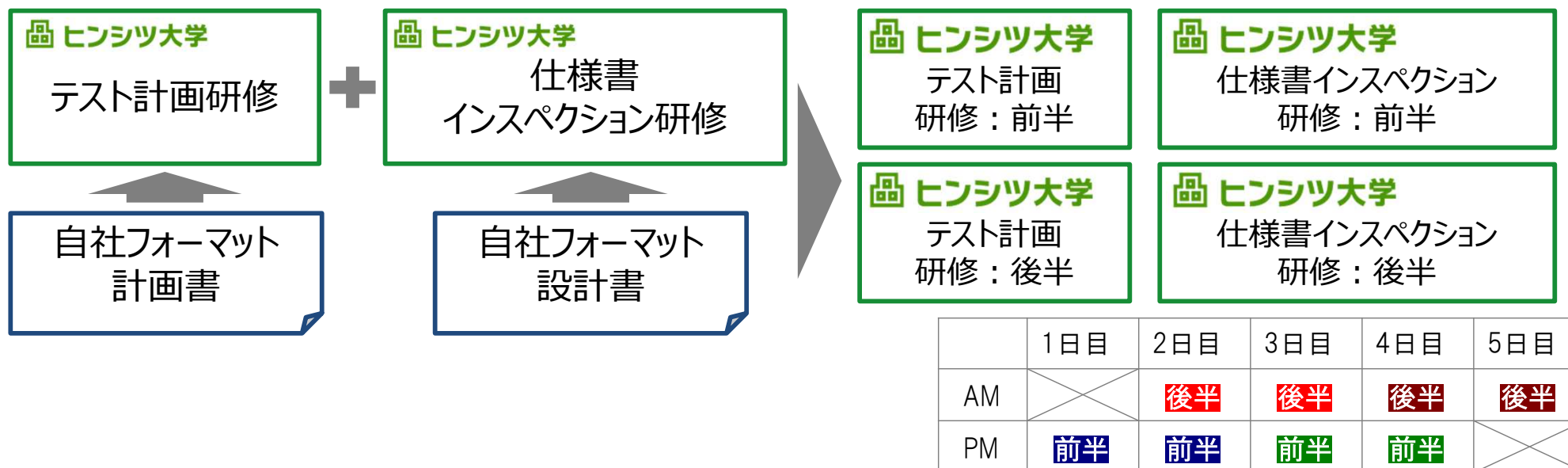
■ケース1

お困りごと	PM力、特に対人力が弱く、折衝事をうまく捌くことができていない
解決目的	横串組織のミッションとして事業部全体のPM力を可視化し向上したい MBOの一つに教育時間という項目もあり、実践に役立つ教育を実施したい 部下全員の達成率で評価が決まる
教育対象	各本部のメンバー全体
講座内容	品質基礎力検定（1回目30名、2回目389名） PM検定-知識診断、PM検定-実践スキル【初級】、PM検定-実践スキル【初級】（30名） チケット購入（100枚）による公開講座全般への受講
効果	・社員の実力が可視化できた 今後、研修へつなげていく
教育担当者様のお声	・品質基礎力検定は、一般を問う問題なので、逆に非常に難しいと感じた。。 ・PM検定-知識診断は、知識レベルなので1問の重みが非常に高い 1回目PM上級職が受験した結果、設問自体は簡単なので5問間違えるとまずいレベル。一方、PLや初級PMには、丁度よい教材にはなりえる。

お困りごと	プロジェクトにおける炎上（リリース後障害多発） 原因としてテストケース（テスト設計）が考えてつくれていない 若手＆新人は「品質」という言葉が理解できていない。
解決目的	意識改善、テスト技法の定着
教育対象	若手＆新人（毎年） 3年連続 20名実施
講座内容	＜1年目＞ ソフトウェアテスト入門 テスト設計（機能テスト） ＜2年目＞ 非機能テスト入門 テスト設計（シナリオテスト）
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「品質」とは何か、世の中にリリースするために、どれだけの品質を担保すべきか理解した。 ・「品質」を高めるために何をするか、低いとどうなるかをグループワークを通じて習得できた。 ・効果という面ではテスト自体はSHIFTに委託しているが、判断がつくようになった。 ・「品質」の高いテストにするためのテストケースの選定方法から学べて、テストに関する知識を具体化できた。 ・上流工程から意識した考え方を学ぶことができ、プロジェクトの進め方から意識を変えることができた。

お困りごと	SHIFTが参画したQAチームで策定した品質標準（標準プロセスや標準仕様書）を開発のマネージャー陣に広めていきたい
解決目的	基本の考え方を通じて理解する 演習やケーススタディを通じ、実際に利用する
教育対象	開発責任者、プロジェクトリーダー
講座内容	テスト計画、仕様書インスペクション
効果	<ul style="list-style-type: none"> 品質標準の重要性を理解 また演習を通じ、知識として理解し利用できる下地ができた。 標準フォーマットの定着が、計画より2か月前倒しできた。

■カスタマイズパターン② と カスタマイズパターン③ の組合せ



お困りごと	要件定義の質が悪い 開発側と運用側双方で要件として何を考えるべきかを理解できていない 非機能品質の問題が発生しており、要件に原因がある
解決目的	要件定義では何を作成すべきか、どのように作成していくかを理解する 非機能要件、非機能品質に関する知識の習得
教育対象	開発（仕様設計） 運用・保守
講座内容	品質基礎力検定 非機能テスト入門 講座 上流工程からの品質つくり込み 講座 テスト設計（シナリオテスト） 講座
効果	要件定義に非機能要件が明記されることが定着した。 設計に落とすことを前提に、要件に何をあげるべきかを協力して検討できるようになってきた。

お困りごと	要件定義の質が悪い 開発部門と要求部門で要件定義についての認識や理想が異なる 非機能品質の問題が発生しており、要件に原因がある
解決目的	要件定義では何を作成するべきか、どのように作成していくかを理解する 非機能要件、非機能品質に関する知識の習得
教育対象	開発部門（12名） 要求部門（10名）
講座内容	ソフトウェアテスト入門 講座 非機能テスト入門 講座 上流工程からの品質つくり込み 講座
効果	開発部門と要求部門とで協力して要件定義に臨むスタイルが定着した。 要件定義の段階で非機能品質を検討できるようになった。

その常識、変えてみせる。

SHIFT